

「おきなわの農業」副読本に

食育活動の一環でJA沖縄中央会(新崎弘光会長)などをつくるJAグループ沖縄は、県内の全小学校を対象にした副読本「おきなわの農業」を初めて作成した。今月中旬以降に配布する。既に県内274校の小学5年生や担任教員に向け、農業や食に関する補助教材などを配布した。

4日、贈呈式が県庁であり、新崎会長らが高良倉吉副知事に目録を手渡した。

補助教材の贈呈は今回で7回目。新たに作成した「おきなわの

JA、県内全小学校配布

農業」は、沖縄の気候・土壌、農家戸数、県産農産物などを幅広く紹介する。補助教材の「農業とわたしたちの暮らし」とそれぞれ2万5千部を用意した。

贈呈式で新崎会長は「次代を担う子どもたちに、農業に対する理解を深めてもらい、教材を通して食や物の大切さを知ってほしい」と述べた。高良副知事は「子どもたちが農業を理解することが重要。後継者の育成問題もあるので、早い時期から農業に対して注目してほしい。農林の振興にもつながる」と話した。



県版副読本「おきなわの農業」などを高良倉吉副知事(中央)に贈呈したJA沖縄中央会の新崎弘光会長(左から3人目)ら4日、県庁